

2018年7月9日

### 「ベルリンフィル12人のチェリストたち」への特別協賛について

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（本社：東京都、社長：永井泰浩）は、2018年7月8日（日）にサントリーホール（赤坂）で開催された「ベルリンフィル12人のチェリストたち」に特別協賛しました。

1990年以降、2年に一度、単独による東京公演が開催されており、当社の協賛は2006年から始まって今回で7回目となりました。

「ベルリンフィル12人のチェリストたち」は、世界最高峰のオーケストラであるベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のチェロ・セクションから構成される、ユニークかつ贅沢な室内楽グループです。オリジナリティ溢れる重厚な響きで世界の人々を魅了しています。

今年の公演は初めて、サントリーホール・大ホールで昼公演、夜公演の1日2回公演となり、クラシック、オリジナル曲、映画音楽、ポップスなどが絶妙に配され、「12人」を存分に堪能できる、まさに集大成ともいえる演奏となりました。

また、両公演の第二部冒頭に、チェリストメンバーの一人であるルードヴィヒ・クワント氏から、この度の西日本の大雨で被害にあわれた方へのお見舞いと、「音楽の持つ力が少しでも被害で苦しむ人の助けになることを祈っている」といったスピーチがありました。

当社は、今後も文化活動への取組みを積極的に推進することで、文化的で豊かな社会作りに貢献してまいります。



Photo:Yoshihiro Sato

当日の東京公演の様子（サントリーホール・大ホール）

< 本件に関するお問い合わせ先 >

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社

経営企画部 広報担当 電話：03-3279-9001

## プロフィール

世界最高峰のオーケストラ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のチェロ・セクション全員で構成されるアンサンブル「ベルリンフィル12人のチェリストたち」（以下、「12人」）。結成以来、国際舞台で例外なしの成功を重ねています。

“12人”は1972年オーストリア放送協会の依頼により、ザルツブルクでクレンゲルの《讃歌》を演奏した際、「ベルリンフィル12人のチェリストたち」を名乗り、正式に誕生しました。

“12人”の完全プログラムによる最初の公演は、日本の早稲田大学大隈講堂で73年10月26日に行われ、この年、彼らのために作曲された最初のオリジナル作品であるボリス・ブラッヒャーの《ブルース、エスパニョーラ、ルンバ・フィルハーモニカ》は、ここ日本で初演され、世界に羽ばたいていきました。

その後、多くの著名な作曲家が“12人”のために好んで作品を贈りました。ヘルムート・エーダーは《メロディアーリトミカ》を献呈し、ジャン・フランセーの《朝のセレナーデ》はベルリン芸術週間で初演されました。ゲルハルト・ウィンベルガーがヘルベルト・フォン・カラヤンの勧めで作曲した《12人の独奏チェリストのためのプレイ》は、77年夏のザルツブルク音楽祭で初演。ピアラス、ブレスゲン、フォルトナー、ケルターボーン、テーリヒェン、ルービン、シェリフ、クセナキス、ワード・ツィンマーマンらの作品がこれに続きました。“12人”は世界各国で演奏し、多くのレコード、CD録音を行い、ジャンルを拡げてきました。

ベルリンフィルのカラヤンからアバド、そしてラトルへという新時代の中、世代交代を経験しながらさらに磨きがかかり、輝き続ける「ベルリンフィル12人のチェリストたち」。結成から46年、ますます注目と期待が寄せられています。



Photo : Peter Adamik

## 2018年東京公演概要

公演名： **三井住友海上プライマリー生命**  
*Presents*  
**ベルリンフィル12人のチェリストたち**  
Die 12 Cellisten der Berliner Philharmoniker

日時：2018年7月8日（日）午後2時（昼公演）、午後6時（夜公演）の2回公演

会場：サントリーホール（赤坂）

主催：日本経済新聞社

特別協賛：三井住友海上プライマリー生命

後援：ドイツ連邦共和国大使館

企画：NOAH

出演者：ベルリンフィル12人のチェリストたち

### <昼公演プログラム>

- |                |   |
|----------------|---|
| J. クレンゲル：      | 12人のチェロのための《讃歌》   |
| F. メンデルスゾーン：   | オラトリオ《エリア》より三重唱と複四重唱  |
| J. フランセー：      | 朝の歌より I. アンダンティーノ<br>II. アレグロ・リトミコ<br>III. アレグレット・アマービレ<br>IV. ヴィヴァチッシモ |
| H. ヴィラ＝ロボス：    | 《ブラジル風バツハ》第1番より<br>I. 序奏 [エンボラーダ・土俗的舞曲]                                 |
| 三枝成彰編曲より：      | こんぴらふねふね [日本民謡]<br>オール・マイ・ラヴィング [レノン＝マッカートニー作]<br>ずいずいずっころばし [日本民謡]     |
| J. ベン：         | マシュ・ケ・ナダ  |
| W. カイザー＝リンデマン： | ボサ・ノヴァ（12人のための）   |
| A. ピアソラ：       | リベルタンゴ<br>天使のミロンガ<br>フーガと神秘   |

## <夜公演プログラム>

- F. プーランク [D. リニカー編] : 《人間の顔》より  
I. この世のすべての春のうちで  
II. 歌いながら修道女たちは進む  
VIII. 自由
- J. ホーナー [W. カイザー=リンデマン編] : 映画『タイタニック』より ‘メインテーマ’
- G. シアリング [W. カイザー=リンデマン編] : 映画『恋のゆくえ/ファビュラス・ベイカー・ボーイズ』より  
‘バードランドの子守唄’
- H. ハプフェルド [W. カイザー=リンデマン編] : 映画『カサブランカ』より ‘時の過ぎるまま’
- J. ティンパニ/D. エリントン [W. カイザー=リンデマン編] : キャラヴァン
- D. フンク : 組曲 ニ長調より
- G. フォーレ [W. カイザー=リンデマン編] : パヴァーヌ Op. 50
- R. シューマン [D. リニカー編] : ロマンズ Op. 28-2
- D. ショスタコーヴィチ [D. リニカー編] : 《舞台管弦楽のための組曲(ジャズ組曲第2番)》より  
VI. ワルツ第2番
- A. ドヴォルザーク [D. リニカー編] : 4つの歌 Op. 82 / B. 157より  
I. ‘私をひとりにして’
- H. ヴィラ=ロボス : 《ブラジル風バッハ》第1番より  
II. 前奏曲 [モデーニャ]  
III. フーガ [対話]